

2025年
2月号
24年
12月定例会
特集号

日本共産党 宇治市会議員団だより

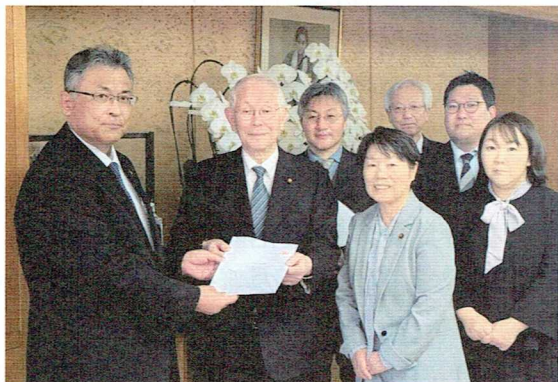
連絡先

住所：宇治市宇治琵琶 33 E-mail アドレス：jcpuji@eto.eonet.ne.jp
TEL：0774 - 22 - 3141 (市役所) (内線 2817 議員団室) FAX：0774 - 24 - 7884

jcpuji



若者も 高齢者も 公共料金の引き下げ、子育て負担の軽減など 安心して暮らせる宇治を



宇治市議会 24 年 12 月定例会は、24 年 12 月 26 日～25 年 1 月 29 日までの会期で開かれました。30 年におよぶ日本経済の停滞・くらしの困難が続いているところに、実質賃金も年金も物価高騰に追いつかず、暮らしは益々大変です。

党議員団は、市民の暮らしを守るために、論戦を展開しました。

*写真：川口副市長に、市長あて25年度予算要望書を提出。

かつて宇治市は「子育てしやすいまち 近畿圏1位」だった

こどもの医療費

学校給食費の無償化など

子育て施策の拡充を

「子育てするなら宇治市で」と1960年代後半から70年代にかけて人口流入、その後も人口が増え、2012年に人口19万人超に。その後は、自然減・社会減で人口が減少し、現在は17万人台です。

昨年末の市長選挙で、子育て支援の拡充、移動手段の確保などが大きな争点になりました。党議員団は12月定例会で、市長の今後の市政運営について問題点を指摘し、具体的な提案を行い、論戦を行いました。

とりわけ、子育て支援については「18歳までの医療費の無償化」「学校給食の無償化」

(詳細2頁)などを求めました。

党議員は「かつて、宇治市は『子育てしやすいまち 近畿圏1位』と『週刊文春』(04年4月)で報道された。ところが今では、『都市データパック』(東洋経済、24年)の『子育てしやすい自治体ランキング』では50位までにも入ってない。京都府内の15市のうち10市はランクインしている」と指摘し、子育て施策の拡充を求めました。

移動手段の確保についても「デマンド型の乗り合いタクシー」の導入を求めました(詳細3頁)。

大軍拡ストップ！国民の暮らしを守れ！



共産党議員団へのご意見・ご相談

医療費
18歳まで
無料化を

早期に無料化を

府内で無料でないのは、宇治など3市

市長「府の動きを見極めて、いつ拡充するか検討」

高校卒業まで医療費を無料化していないのは、府内では宇治市を含め3市のみ。

市長は市長選で、高校生まで医療費助成を拡充すると公約。ところが12月定例会で「府の制度拡充に合わせて市の制度拡充を実施できるように検討する」と答弁。

党議員は、府の来年度予算で医療費助成の拡充の動きはないことを指摘し「市長の答弁は事実上、宇治市では来年度予算で拡充しないという宣言だ」と批判。市25年度予算での実現を迫りました。

市長は「府の議論の方向性、時期を見極める中で、いつ拡充するのか検討する」と答弁。府にそろえてしかない考えを示しました。



学校給食費 無償化を

党議員は、学校給食費の無償化について「市が大河ドラマ展で使った1億6千万円あれば、小学5・6年生全員の給食費を無償化できる」「税金の使い方を少し変えれば、学校給食費の無償化に足を踏み出すことはできる」と追及しました。

教育長は「全ての児童、特定の学年の児童に対する給食費の無償化の考えは持ち合わせていない。学校給食費の無償化は、国で議論されており、国の動向を留意したい」と答弁。

党議員は、国や府の制度が不十分であれば、「住民福祉増進のために、独自に実施するのが地方自治のあり方だ」と指摘。市の遅れた子育て支援施策の拡充を求めました。

北陸新幹線 延伸計画

国交省 巨椋インター南に「車両基地」「トンネル出口」を計画

宇治の環境・地下水・治水
産業計画などに重大な支障

中止を

北陸新幹線の延伸問題について、党議員は「市長は昨年9月定例会で『期待している』と答弁していたが、府知事や京都市長、南丹市長は懸念を表明。京都仏教会も『千年の愚行』と批判している」ことを指摘し、市長に延伸計画の中止を求めるよう追及しました。

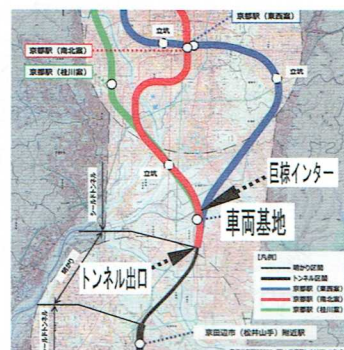
市は「地下水等をはじめとする様々な影響、発生土や治水対策等の内容は現時点で明らかになっていない部分がほとんどだ。慎重な調査と地元への丁寧な説明とともに、施工上の課題や環境等に対して適切に対応していただくように、引き続き求めていきたい」と答弁。

党議員は「延伸計画では、市が進めている産業地域（宇治市西部の安田地区）の北側に

新幹線の巨大な車両基地が計画され、産業用地の南側に新幹線トンネル出口が計画されている。車両基地への引込線が、産業用地を通ることになると、市の事業に大きく影響するのではないかと追及。

副市長は「引込線など、産業立地の取組に影響が出ないよう、国の責任を果たしてほしいと府を通じて国に求めている」と答弁。

党議員は、市の姿勢を改め、延伸計画中止を求めるよう厳しく追及しました。



新幹線ルート案 国交省等の資料に一部加筆

移動の 補償

市 新たな実証運行の可能性を検討

予約制乗合タクシーの実施 急ぐべき

市はこれまで「市内に駅が14あり、バスやタクシーが走り、交通に便利なまち」との認識を変えませんでした。

しかし、車やバイクなどを運転できなくなると、駅やバス停までも行けず、通院や買い物など「行きたい所に行けない」深刻な状況が市内全域に広がっています。

党議員は繰り返し「移動手段の確保」のために予約制乗合タクシーの導入を求めてきました。市民からも、要望書が市長あてに提出されるなど、予約制乗合タクシーの実現は喫緊の課題です。

党議員が、市の認識を質すと「市を取り巻く環境の変化を踏まえ、補完となる移動手段の検討を始めている」「エリアを設定した新

たな移動手段の実証運行の可能性を検討」すると答弁。

さらに党議員が具体的な検討状況を質しても、市は「検討中」と繰り返し、具体的な内容は説明できず、検討は進んでいません。

移動手段確保の為の市の現行予算は、約460万円。人口22万人の寝屋川市は約3億円。党議員は、宇治市の予算を抜本的に増やすべきだと追及。経済的にも効率的な「予約制乗合タクシー」の実施を求めましたが、市は「様々な方法がある」として明確な答弁をしませんでした。

予約制乗合タクシーを早期に実現すべきです。



環境 地域循環型 経済

温室効果ガス削減など環境政策に より重点を

市民の負担軽減、健康保持、教育環境改善、地域循環型経済へ

党議員は、温室効果ガス削減など環境政策により重点を置き、特に建物の断熱性能向上のための住宅改修助成制度などの施策を拡充すべきと提案しました。

具体的には「学校などの公共施設、既存住宅などの断熱性能の向上を行い、教育、住環境の良さを宇治市の魅力として打ち出すべきだ」「市民にとっては、光熱費の削減になる」

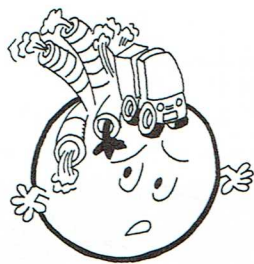
「室内での活動量増加などで健康保持につながる」

「教育環境を改善できる」、さらに「改修工事を市内の事業者が発注するルールをつくれれば、事業者の

仕事づくりと事業者にお金が回ることになり、地域循環型経済を作ることができる」と示し、施策の実施を求めました。

市は「学校では断熱確保で冷暖房効果を高め、電気代の低減が図れる」「住宅の断熱性能向上でヒートショックや高血圧の防止など健康面での効果がある」「市内経済に一定の影響がある」など効果を認める答弁をしています。

住宅改修については、国も予算を付け推進しています。国の制度に上乗せするなど市独自の取り組みを行い、温室効果ガス削減のペースを上げるとともに、市民の暮らしを支え、市内経済の活性化を進めるべきです。



3つの 請願

◎中学生から「開かれた校則づくりを」 ◎学校給食費の無償化 ◎保育条件の改善

共産党は
紹介・賛成

市民から12月定例会に3件の請願が提出されました（表参照）。党議員団は、すべての請願の紹介議員になり、賛成しました。

■中学3年生から「生徒に開かれた校則づくり」の環境を整えることを求める請願が提出されました。内容は「①さまざまな立場の生徒も交えて学校のルームメイキングができる土壌をつくること。②生徒が自主的に行動できる雰囲気を作り出すこと。③ルールをホームページに掲載し、ルール作成に至った経緯を含めて、いつでも確認できるようにすること」の3項目です。

自民党議員が「議会が議論をすることが教育活動に対する政治的な介入とならないか、教育や学校運営の中立性が保てなくなるのではないか、危惧する」と反対討論。

党議員は「請願は、学校教育への生徒の積

極的な参加が出来る環境づくりを求めたもので、教育への不当な支配にも、教育の中立性の侵害にもあたらない」と賛成討論を行いました。



採択では、共産党と無党派の1議員が賛成、自民・公明・立民・国民・維新などの議員が反対し、不採択になりました。

なお、宇治市で校則をホームページに掲載しているのは市立中学10校のうち2校のみ（市教委の説明、1月21日時点）。

文科省の「生徒指導提要」には、校則を「学校のホームページ等に掲載しておくこと」が「適切である」。校則を見直す場合の手続きの「過程を示しておくことが望ましい」と記されています。請願の趣旨と同一内容です。

■また、給食費の無償化を求める請願、保育条件の改善を求める請願が提出されました。この2つの請願も表のとおり不採択となりました。

請 願	請願内容の概要	共産	未う 来じ	自民	公明	・宇 蒼治	無 (荻)	無 (佐)	無 (藤)
市立中学校の校則のあり方についての請願	開かれた校則づくりを求める	○	×	×	×	×	×	○	×
すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	学校給食費の無償化を求める	○	×	×	×	×	×	○	×
誰もが安心して子供を産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願	保育条件の改善 配置基準の改善	○	×	×	×	×	×	○	×

○：賛成 ×：反対 うじ未来=立民（松峯・服部・西川友）国民（今川・角谷）無所属（真田・岡本），自民=（堀・中村・木本・西川康・渡辺），公明=（関谷・鳥居・稲吉・西川美・西岡），宇治・蒼=（金ヶ崎・加勢）、無=無党派、（荻）=（荻原）、（佐）=（佐々木）、（藤）=維新（藤田）

意見書

党議員団は右表の2つの意見書を提出しましたが、自民・公明・立民・国民・公明・維新などの反対で否決されました。

意 見 書	共産	未う 来じ	自民	公明	宇 蒼治	無 (荻)	無 (佐)	無 (藤)
現行の健康保険証の存続を求める意見書	○	×	×	×	×	×	○	×
訪問介護基本報酬引き下げ撤回と介護報酬再改定を求める意見書	○	×	×	×	×	×	○	×

法律相談 毎月第一金曜日 午後2時から議員団控室 事前に議員にご連絡ください。
お気軽にご相談ください